

ATR-Corpus: ATR研究を支えたハイクオリティデータセット

概要

ATRコーパス(ATR-Corpus)は、音声翻訳、音声知覚、顔認知のATR最先端研究で生まれ、研究を支えたハイクオリティデータセットです。ATR-Promotionsコーパス事業部製品として音声言語、実環境雑音、顔表情画像の3つのカテゴリがあり、大学、研究機関の基礎研究から、AI音声翻訳などの実用製品サービスまで豊富な利用実績を重ねています。

特徴

- 音声言語: 音声認識、音声合成、機械翻訳のほか音声分析、話者認証など多様な用途に対応可能なデータベースです。音声コミュニケーションサービスなどの基本データとして活用されています。
- 実環境雑音: 駅コンコース、電車内、ゲームセンターや建設工事現場など、身近な日常環境の多種多様な雑音70種類を収録したデータベースです。雑音に強い音認識技術、環境騒音アセスメントなどに利用されています。
- 顔表情画像: 顔認知研究の実験刺激データとして作成された静止画像データベースです。10名のモデルが10種類の表情を表出しています。多くの大学や研究機関において心理学研究/教育などに利用されています。

今後の展開

- 新製品リリース
 - 48kHzサンプリング音声データベース: ATR503文、旅行会話
 - 顔表情映像データベース: 顔表情画像の映像データ版

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関係

- 明日の社会を拓くAI技術は大規模かつ、ATRコーパスのようなハイクオリティなデータがあってこそ実現可能です。スマートフォンアプリなどで屋外、室内を問わずどこでも使え、誰にでも使いやすいAI音声コミュニケーションサービス。そこにATRが究めた最先端研究を支えたATRコーパスが活用されています。

